



若草園を支える会 会報 後援会だより

平成23年(2011)4月23日発行 第6号
事務局：社会福祉法人 栄光会 若草園 内
〒787-0155 高知県四万十市下田2211
Tel (0880)33-0247/Fax 33-0518
IP電話(050)3344-8850
会長：山崎祥正



取引口座 郵便局 01610-5-9632 社会福祉法人 栄光会 若草園
幡多信 下田支(普)0083497 「若草園を支える会」会長山崎祥正

機関紙『わかくさ』第16号をお届けします。

5/28(土)にガーデンパーティー(詳細は機関紙の4面)と、総会(詳細は裏面)を開催します。

◆多くのみなさまの善意に感謝

平成22年度『若草園を支える会』の会計決算がまとまりました。正式には監事による監査を受けて、役員会を経て、総会にて公表させていただきます。ここでは概要を速報でお伝えします。

収入は会費等が約102万円。支出は、会費の郵便口座への振込手数料2万円、機関紙用紙など事務費が13万円、園児に対する支援に25万円。前年度繰越を合わせた今年度繰越は83万円弱となりました。

発会初年度のスタートダッシュの勢いを凌ぐ、桁ちがいの決算となりました。この会の趣旨が多くの皆様に理解され、根付いてきているものと思われました。ほんとうにありがとうございます。

特に、昨年度は各市町村の校長会を通じて、大きなお助けを頂いたことを感謝します。今年度も、民生委員会や校長会などを通じまして、ご案内に参りますので、引き続きのご協力を、切にお願い申し上げます。

今年も下の記事のとおり、児童のために用いることができました。みなさまのご協力、ご支援の賜物です。ありがとうございました。

平成23年度会員継続の手続きは総会の後にご案内させていただきます。



◆卒園児童への援助

この3月に若草園を巣立っていった児童に、自動車学校費用を援助しました。下記は本人からのお礼状です(味をいかすため原文のままです)。



この度は、自動車免許取得のためにささえる会からしきんを借していただきありがとうございます。11月ごろに自動車学校の方に通うことになりましたが、初めは免許がとれるかどうか心配でしたが、ぶじとることができて、ほっとしました。今は、親の車をかりて、練習しています。しょうらいてきには仕事で車をつかうようになるので、じこをおさなないようにきをつけたいとおもいます。

仕事はJAでこうばいのほうで、はんばいをしていますので、声をかけてください。はじめたばかりなので、しっぱいしないようにがんばります。

支援していただき本当に助かりました。ありがとうございます。

今まで支えてくれたまわりの方々に感謝をして気持ちを新たに頑張つて行きたいと思えます。

宮添聡士

◆支える会の総会(5/28)ご案内

平成23年度の総会を5月28日(土曜日)13~14時に、若草園にてとりおこないます。多くの方が集まりやすいガーデンパーティーの内に開催します。活動の指針をあらためて考える会にしたいと思っておりますので、ご参加くださるようによろしくお願いいたします。

◆会員が747名に

3月末までに747名の継続(一部新規)の方々に登録いただいております。前年度末は326名でしたので倍増しております。厚い心を持ってご賛同いただいた皆様にあらためてお礼申し上げます。

加入した方の内訳は、学校関係 566名(うち、校長会に依頼しての加入 513名)若草園 28名、人権委員 21名、民生員 18名、その他 114名でした。

また、以前に加入していただきましたが平成22年度中に会費の納入がまだの方や、関係各所で加入に関わらず会報をお届けしている先が合わせて587あり、支える会としての人脈は1,334名(個所)にも広がりました。皆様のご尽力で非常に力強い後援会に成長できました。

★事務局のこぼればなし

機関紙の記事にもありますが、今年の初め『タイガーマスク運動』が起こり、単発的な寄付の動きがありました。ほんとうに感謝でした。お陰で取材に来てもらって、テレビにも出してもらえました。

しかし『若草園を支える会』の会員の皆様の継続的な支援が大きな力となっている事が、この会計決算からうかがい知ることが出来ます。まさに「継続は力なり」であります。

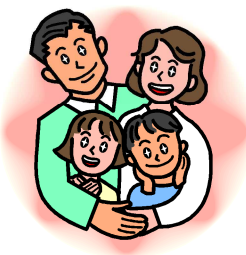
短期的ではありませんでしたが、ランドセルを贈るという1つの流れが出来てしまい、今年度の新入生1人に対して、ランドセルが合計5個届きました。この先3年間にはランドセルには困らなくなり、感謝ではあります。しかし、最近のランドセルの多様化によって、園の子どもがカラフルなランドセルを欲しがるケースもあり、必ずしもあてがう事が出来ない現状もあります。若草園では、児童の趣旨主張をできるだけくみ取ってあげるように養育しておりますので、恐縮ですが、頂いた黒か赤のランドセルは「欲しくない」と言う場合もあります事を、お伝えしておかなければなりません。実際、新一年生はかねてより「ピンクのにしたい」と表明しておりましたので、「もらった赤のにしなさい」とは言えず、5つともお蔵入りになりました。このように微視的には思う事もありました。

そうしますと、やはり、支える会の活動は非常に有効で、力強いお支えになっている事をあらためて感じます。子どものニーズにあった助力として、即した手だてが可能です。

それにしましても、タイガーマスク現象は巨視的には大きな成果をもたらせました。年度末になって突然「子ども手当」が園の子どもにも支給される事になりました。再三にわたって、厚生労働省には施設児童への支給について、関係機関を通じてお願いしておりましたが、年明けまで聞き入れられませんでした。これは児童養護施設への日本中の国民の思いが、政府に通じたと考えられます。

どの様な運動であっても、光と影の部分があります。支える会を運営しておりますも、機関誌の発行に併せて届く支える会の案内に、不快感を持たれる方もおいでます。お気持ちはお察しします。寄付のお願いは正直、心苦しい事でもあります。しかし、この支える会の存在は、既に2名の男子の社会へと旅立つ橋渡しとなる事が出来ました。光が強ければ、陰も濃くなるでしょう。しかし、その輝きは増すと言う事です。その陰も、明るい陰になるのです。

これからも、皆様の善意で大きく成長した『若草園を支える会』を、豊かな実のなるものへと、さらに育てて下されば、どんなにか子どもたちにとって素晴らしいものとなるでしょうか。今後ともよろしくお願い致します。(文責せと)



✉事務局直通メール
wakakusaenjimu@
yahoo.co.jp

会報・機関紙の送付が不要になった方は若草園にご連絡ください。知友に紹介する方、最近届かなくなった方もどうぞ。

